

厚生労働省委託事業
地域の人材による子育て支援活動
強化研修

地域子育て支援拠点研修

宮城開催

子育て家庭を地域で支えあう仕組みの基盤強化のため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業に携わる従事者、行政担当者対象の研修です。最新の行政説明、講義、事例報告、パネルディスカッションなどから、実践的に学ぶ機会とします。

日時

2022年10月17日(月)

10:00~16:00(受付9:30~)

●会場 エル・パーク仙台
セミナーホール1・2

(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル5階)

●定員 100名
(事前申込・先着順・定員になり次第締切)

●対象 ・地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者、または従事予定の方
・行政の事業担当者
・地域において、子育て支援に従事している方

●参加費 無料



●アクセス

地下鉄南北線「勾当台公園駅」徒歩3分(南1番または南2番出口)
※ご注意
10時前は地下道から会場に入れません。左図矢印の地上入口からお越しください。

●主催 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
●後援 宮城県・仙台市・(社福)全国社会福祉協議会
●協力 NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

お問い合わせ: NPO法人子育てひろば全国連絡協議会(ひろば全協)

〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-12-18-303

TEL: 045-531-2888/045-546-9970(受付時間: 平日9:00~17:00)

FAX: 045-512-4971

E-mail: seminar@kosodatehiroba.com



プログラム

9:30~ 受付開始

10:00~10:10 開会挨拶

10:10~11:00 プログラム1 行政説明

地域の子育て支援に関する施策の現状

地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の概要、および子ども・家庭支援をめぐる最新情報についてご説明いただきます。

説明 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課

コーディネーター 奥山千鶴子

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

11:00~12:00 プログラム2 講義

地域子育て支援拠点の意義を問い直す

~子どもを育み、親子の真の居場所となるために~

地域子育て支援拠点は、親子にとって本当に数居の低い居場所となっているでしょうか。誰でも抱える子育ての葛藤や負担感を解消できる場になっているでしょうか。また、拠点における子ども同士のかわりの重要性を私たちはどの程度認識しているのでしょうか。親も子どもその人らしく過ごせる居場所について学び直します。

講師 大豆生田啓友さん 玉川大学教育学部 教授

お昼休み

13:00~15:55 プログラム3 パネルディスカッション

子育て家庭の変化・多様なニーズに応える

地域子育て支援拠点の可能性を考える

子ども・子育てをとりまく環境や子育て家庭は、時とともに変化し多様になってきています。拠点にはいろいろなニーズを持った親子が訪れ、様々に過ぎていきます。多様なニーズや利用の仕方に対して、拠点が活動をどう工夫し対応したか。働く親、父親、妊娠期へのアプローチ等、パネリストの話からヒントを得て、自分たちの拠点の活動について考えてみましょう。

パネリスト

尾崎暁子さん ひろさき子育て世代包括支援センター
弘前市駅前こどもの広場

三浦三恵子さん NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク 理事
のびすく総括責任者

野口比呂美さん NPO法人やまがた育児サークルランド 代表

コーディネーター

奥山千鶴子さん 認定NPO法人びーのびーの 理事長

15:55~16:00 終了挨拶

*感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策として随時、換気に努めます。
入口に消毒液を設置しますので手指消毒の徹底、会場では間隔を空けて着席頂きます。
マスク着用と手洗いの徹底、咳エチケットにご協力ください。

*主催者の判断で中止もしくは開催方法を変更する場合

災害、天候等や、新型コロナウイルスの感染拡大状況、会場、講師の都合により、主催者の判断で中止、またはオンライン開催に変更する場合があります。
詳しくは、ひろば全協のホームページに掲載すると共に、申込時にご登録いただいたメールアドレスにご連絡を差し上げます。

申込方法: ひろば全協ホームページから



<https://kosodatehiroba.com/175miyagi.html>